

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No13	火災、や地震、水害のマニュアル整備はされ年2回の避難訓練は関連病院と合同で実施でき、災害時に備え備蓄確保やコンセントの定期的な掃除等が行われている。しかし地域消防団への働きかけはされているが実施はできていない。	地域との協力体制作りや災害時の対応についてできる所から取り組む。	災害頭巾を作り入所者様の安全の為にいつでも利用できるよう各居室の使用しやすい場所に置く。備蓄の再確認、居室の高い所に物を置かないなどの安全確認。運営推進会議で出席者に避難訓練の参加を呼びかけると共に、地域の方への協力体制作りにも再度取り組む。	12ヶ月
2		家族アンケートの中で言葉使いが気になるの方が2名おられた。入居者様と職員で馴染みの関係が築け馴染みにになり、尊厳ある言葉かけが不足していると思われる。	入所者様の行動思いを把握しながら、馴染みににならないよう意識し尊厳ある言葉使いに努める。	グループホームが2ユニットあるので職員の勤務体制で、どちらでも対応できる状態にする事で、初心に帰り介護ができるよう取り組む。入所者様の中には物盗られ妄想の方もおられ、職員を泥棒扱いにされるので、職員の精神的ケアに対処し入所者に対し尊厳ある言葉使いに努める。	12ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。